

1年 星の花が降るころに

組 番 名前

Step 1

夏実と戸部君に対する「私」の行動や様子とそのときの心情を、空欄をうめてまとめよう。また、場面ごとの「私」の心情の変化を線で書き表してみよう。

公園で	放課後 校庭で	廊下で	昼休み 教室の中で	回想	「私」の心情の変化
				+	
				-	
※銀木犀のある公園に立ち寄る。 ※夏実との思い出が詰まった袋の中の ()を土の上にはらば らと落とした。	※「——あたかもしれない」 ・二人で顔を合わせてふき出した。 ※黙々とボール磨きをしている戸部 君を見る。	・戸部君を探した。 ※夏実は顔を背け、目の前を通り過 ぎて行った。 ・戸部君がこちらを見ていることに気 づいた。 ・唇がふるえ、目のふちが熱くなった。	※夏実の姿が目に入った。 ・()足をふみ 出した。 ・戸部君をにらんだ。 ・戸部君を押しつけるようにして廊 下に向かった。	・夏実と二人で木の真下に立ち、花 が散るのを長いこと見上げていた。	「私」の行動や様子
▼() ける	▼() きつとなんとかやってい ける	▼() 君のことが気がかりだった ▼憎らしくてしかたがなかった ▼自分の考えていたことがひどく ()に思えてきた ▼やっぱり戸部君って、()	▼自分の() きりわかった ▼音のない() きまりが悪くてその場を離れる よう	▼() 今日こそは() きた	「私」の心情

Step 2

戸部君との関わりによって、「私」の心情はどのように変化したのか、印象的な場面をあげてまとめよう。